

# 2009年

(2009/01/01~2009/12/31)

## 循環器科における治療内容



### 中央病院 循環器科

現在、狭心症および心筋梗塞などの虚血性心疾患の診断、治療において冠動脈カテーテル検査および冠動脈形成術（PCI）は確立された検査、治療になっております。当院における 2009年（1月から12月） の治療内容を下記に示します。ご参照ください。

カテーテル検査及び治療	総数	
心臓カテーテル検査		1,571件
経皮的冠動脈血管形成術（PCI）		1,050件
末梢動脈血管形成術（PTA）下肢		433件
透析シャント		64件
腎動脈		11件
IVCフィルター留置		3件
		10件

ペースメーカー	総数	
新規		118件
交換		69件
一時 <sup>h</sup> -シグ		15件
		34件

#### 【ステント治療の内訳（部位）】

従来の金属ステント（BMS）	237件（43%）
薬剤溶出ステント（DES）	316件（57%）
バルーンのみ拡張（POBA）	33件

#### 【治療成績】

急性冠症候群（ACS）	127件（29%）
急性心筋梗塞 82例	手技成功率 99%
不安定狭心症 45例	手技成功率 100%
狭心症	306件（71%）
非閉塞病変（481病変）	手技成功率 99%
慢性閉塞病変（54病変）	手技成功率 89%

